

平成27年度 公益財団法人鳥取県畜産振興協会事業計画

1 基本方針

公益財団法人鳥取県畜産振興協会は、平成25年以降公益事業をベースとした事業を展開しています。

平成27年4月1日以降から大山乳業農協出向職員(臨時雇用含め)は廃止とし、新体制の職員構成で管理運営することとなります。構成については、協会職員13名、協会臨時職員6名、県職員派遣1名の計20名の体制で公益事業実施を行います。

預託事業については、鳥取県が平成25年度に大山放牧場へ新牛舎2棟の建設と草地の一部を全面更新。平成26年度には大山放牧場の新牛舎に扇風機、連動スタンションを整備したことにより、周年放牧預託1,000頭を確立する新体制が整いました。

採卵移植事業については、平成26年度から県下全域を対象とした採卵事業を当協会が網羅し、採卵希望頭数が大幅に伸びてきていることから、預託事業に続く一事業として確立して行きたいと考えます。

事業活動支出において、購入飼料費は約50%のウエイトをっていますが、昨年からの円安等の影響とアメリカの乾草飼料生産の不作により、飼料高騰が続くと考えられることから、その対策として良質自給飼料生産量の拡大に努める必要があると考えます。

このような現状を踏まえ、当協会は畜産経営の不採算部門である育成牛や、繁殖和牛の空胎期間のコスト削減、採卵事業を活用した受精卵移植による付加価値の高い子牛生産の支援等、県下の大家畜農家経営支援の一助となるため、次に掲げる項目を重点的に展開するものとします。

2 事業計画

(1) 新たな組織の整備

鳥取県畜産試験場では和牛雌牛50頭を管理することが困難となったため、平成27年4月1日から当協会が畜産試験場内の和牛牛舎で管理委託を受けることになり、職員2名(うち1名は臨時職員)で飼養管理する体制となります。

(2) 受精卵採卵・受精卵移植の拡大推進

現在の採卵牛は7頭で採卵数が少ないこともあり、預託牛のみに受精卵移植を行っていました。

しかし、平成27年4月1日から畜産試験場の和牛雌牛50頭の内25頭から採卵が出来ることになり、多くの受精卵が確保出来るようになります。

これに伴い、県下の畜産農家に安価で高品質な授精卵の供給体制が整い、受精卵移植の拡大推進を図ります。

(3) 公益財団法人経営の安定化対策

定期的経営分析による経営改善の取り組みとして、監査員による定期的な経営指導の徹底を図ります。

(4) 自給飼料生産の取り組み

①良質な自給飼料の生産向上

- ・湖山池周辺の飼料畑への施肥改善

有機質肥料と化学肥料の散布量の設定を改善し収量増加を図ります。

- ・牧場内採草地の生産量向上改善

目標収量2 t (10 aあたり)を達成するため、化学肥料の適正施用の励行に努めます。

- ・適期刈り取りの励行

乳熟期までに刈り取り、収穫が終了するよう努めます。

②草地管理機械の計画的更新

効率的な牧草生産処理を行うため、次のとおり中核的な現有機械の更新を行い良質な飼料確保を図ります。

機械名	台数	配置先
集草機	1台	鳥取放牧場
ロータリー	1台	鳥取放牧場
集草機	1台	大山放牧場

(5) 飼養管理の改善

①種付け受胎率の向上

- ・人工授精受胎目標 1.8本/頭
- ・受精卵移植率目標 50%以上

②放牧病の防御対策の徹底

前年度に引き続き、ピロプラズマ病に対する徹底した防御対策を実施し一刻も早い清浄化を実現させます。

(6) 消費者との交流促進

①消費者との畜産理解の醸成

「大山まきばみるくの里」施設で引き続き、県内外の消費者との交流を推進し、牧場ファンの定着化を高めます。

②野外教育研修への貢献

鳥取大学獣医学科と技術交流を図り、獣医学技術の向上支援に貢献します。

地元小学校以下の児童や老人福祉施設利用者に牧場のふれあい施設を開放し、畜産への理解醸成を図ります。

(7) 主な事業計画

①平成27年度預託牛放牧頭数計画

牧場名	畜種	新規入牧頭数	月平均飼養頭数	放牧期間
鳥取放牧場	乳用牛	440	397	周年預託
	肉用牛	210	134	
河合谷牧野	乳用牛			5月～10月
	肉用牛		112	
大山放牧場	乳用牛	410	394	周年預託
	肉用牛			
俵原牧野	乳用牛		139	4月～10月
	肉用牛			
合計	乳用牛	850	930	/
	肉用牛	210	246	
		1,060	1,176	

②平成27年度預託牛収入計画 (金額単位：千円)

牧場名	畜種	延頭数	預託金額
鳥取放牧場	乳用牛	144,720	88,279
	肉用牛	69,370	32,049
大山放牧場	乳用牛	173,450	105,805
合計		387,540	226,133

預託料金/1日・1頭 (税込み額)	
乳用牛	610円
肉用牛	463円
交雑種	463円

③平成27年度人工授精受精・卵移植・採卵事業計画 (金額単位：千円)

牧場名	人工授精		受精卵移植		受精卵採卵	
	実施頭数	収入金額	実施頭数	収入金額	実施頭数	収入金額
鳥取放牧場	800	1,812	250	2,835	185	8,400
大山放牧場	750	1,746	100	1,260		0
計	1,550	3,558	350	4,095	185	8,400
手数料内訳	技術料：1,296円/頭 精液代等実費		技術料：10,800円/受胎 受精卵代		技術料：43,200円 出張経費	

④平成27年度飼料購入計画 (金額単位：千円)

牧場名	濃厚飼料		粗飼料		湖山草地粗飼料		ビタミン・鉱塩他
	購入量 t	購入金額	購入量 t	購入金額	購入量 t	購入金額	金額
鳥取放牧場	478	21,520	644	38,648	480	4,800	1,850
大山放牧場	434	19,513	666	39,932			1,850
計	912	41,033	1,310	78,580	480	4,800	3,700

合計	
購入量 t	購入金額
1,602	66,818
1,100	61,295
2,702	128,113

⑤平成27年度自給飼料生産計画

牧場名	採草面積	ロール数	収量
鳥取放牧場	91ha	2,120個	850 t
大山放牧場	60ha	1,250個	500 t
計	151ha	3,370個	1,350 t

自給率 50%